

平成28年11月15日

1年次保護者殿

山形県立酒田西高等学校

校長 柿崎 則夫

1年次委員長 稲益 秀明

1年次主任 大坂 禎子

第2回1年次PTA研修会について（ご案内）

晩秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に対してご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、年度当初の1年次PTA総会時の計画どおり、下記の要領で開催いたします。なお今回、担任団が学校生活について報告した後、山口和士氏から以下のタイトルで講演頂きます。多感な子供とどう向かい合うべきか考える一助となればと思い企画いたしました。是非ともお誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日時 12月22日（木）18：30～20：30

2 場所 本校グループ学習室

3 次第 （1）報告（学習、生活、進路、修学旅行について）
（2）研修会

4 研修会について

（1）演題「親として子供を成長させる10の条件

～子の巣立ちを助けるために～

（2）講師 日本進路指導推進協議会会長・関東学院大学特任教授

群馬県立高崎東高等学校前校長

山口和士氏

5 その他

（1）当日は昇降口からお入りください。スリッパ持参をお願いします。

（2）日中ならばという方は、生徒（12：20～13：50）の進路講演会への参加が可能です。出欠票にご記入ください。

（3）切り取り線以下、必要事項を記入し12月9日（金）までに担任に提出してください。

第2回1年次PTA研修会 出欠票

※PTA研修会に（ 参加します 参加しません ）
どちらかに○をつけてください

※生徒の進路講演会への参加を希望する方は右へ○を記入してください。（ ）

1年 組 番 生 徒氏名

保護者氏名



【講師プロフィール】 山口 和士 (やまぐち かずし)

1956年山形県生まれ。教師、詩人、文芸評論家。教育研究会「日本進路指導推進協議会」会長。関東学院大学(神奈川県横浜市金沢区 全11学部)特任教授。群馬県立高崎東高等学校前校長。

公立高等学校での教育実践をもとに、筑波大学、青山学院大学等で大学の教職員に講演し、大学改革を提言。東京都公立高等学校進路指導研究会で10年前に講演し、公立高校復活の火をつけた人物としても知られている。管理職となってからも、日々校門に立って生徒に声をかけ挨拶を徹底させ、全員に面談を実施した。総合学科で国公立現役合格者を卒業生数の6人に1人から4人の1人にまで伸長させた実績は、全国の新学科、総合学科の希望となった。最後の勤務校では「進路多様躍進校会議」を企画。山口氏を慕い、全国から130名を越える教員が年齢に関わらず結集し、現実の課題に立ち向かう姿勢を共有し合った。

2008年まで2年間にわたり月刊『進路指導』(日本進路指導協会刊)に「高等学校進路指導Q&A」を連載。全国の高等学校進路指導担当者に広くその名を知られており、年間200校を超える高校や全国の都道府県教育委員会から講演のオファーがある。受験校、中間校、定時制と幅広い校種で優れた実践を行い、教育の本質を追求、体現してきた人物としても著名である。

最近では、新テストの作問試案を作成し、「高大接続システム改革委員」に提出するなど、全国に注目されている。今年4月、東京お茶の水で実施された「第4回高大接続 教育改革シンポジウム」に登壇し、高等学校を代表する立場から、文部科学省主任大学改革官、東京大学副学長とともに講演した。次世代のオピニオンリーダーとしても今後の活動を期待されている。

世界の教育事情にも精通し、日本の高等学校を広角な見地から分析・研究・実践し、新たな時代の進路指導の理論家・実践者としても注目を集めている。

平成26年度 PTA進路研修会(山口和士氏)感想より

※とても短く感じた90分でした。進路指導のお話というより、人生訓として聞かせていただきました。

10カ条をいつも心に留めて、これからの日々を過ごしていきたいと思います。

※初めから涙が流れっぱなしでした。この資料をまたよく読みます。気付かせて頂きありがとうございます。

※心当たりが多々あり、反省させられました。今日聞いたお話を参考にして、子どもに接していきたいと思います。

※どうしても上の子と比較し、気になることが多かったのですが、あきらめず受験まで支えていかなければと目を覚まさせてもらいました。感動の時間をありがとうございました。

※私は入学式以来、このような会には参加しておりませんでした。今日も修学旅行説明会が終わったら帰ろう、途中で眠くなるかなと思いつつも参加しました。山口先生のお話は大変おもしろく、それでいて心が熱くなるお話でした。子どもに対して、親身にならず投げ捨てていた自分の心に、先生の言葉が痛く突き刺さりました。後悔しないよう子どもと向き合っ、受験に立ち向かおうと思います。